

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○6月27日～

日銀がどこまで円安を許容するのか海外勢もやや疑心暗鬼となっており、スイスの突然の利上げのように日銀が7月以降、いつ動くかに注目が集まっています。

先週は株価が大きく戻ってきていることもあり、マーケット全般はリスクオン状態。

ただし、為替相場では円安の勢いは弱まっているので慎重に取引したいです。

<ドル/円>

中尾元財務官が為替介入の可能性は排除できないと23日に発言したこともあり、136円台後半から一気に135円を割り込む動きが出ました。

134.2円あたりで下げ止まって、上昇してきましたが136円あたりで上値が重くなってくると円高方向へのリスクが再燃しそうです。

<気になるクロス円>

クロス円は方向感がわかりにくいですがユーロやNZドルはダブルトップの天井を形成しそうな見えるので、下げ始めたら注意がいらいます。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では5月鉱工業生産、6月東京都区部消費者物価指数、4-6月期日銀短観などがあります。

米国では5月耐久財受注、4月ケース・シラー米住宅価格指数、6月消費者信頼感指数、6月リッチモンド連銀製造業指数、1-3月期GDP(確定値)、パウエルFRB議長発言、5月個人消費支出、前週分新規失業保険申請件数、6月シカゴ購買部協会景気指数、6月製造業PMI(改定値)、6月ISM製造業景況指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで6月消費者物価指数、6月製造業PMI(改定値)、ユーロ圏でラガルドECB総裁発言、6月消費者信頼感指数、ドイツで5月小売売上高などがあります。

ほかには英国で1-3月期GDP(改定値)、カナダで4月GDPの発表などがあります。